

企画【ヘルスコミュニケーションを学べる大学・研究機関紹介】

<b>順天堂大学大学院 医学研究科</b> <b>ヘルスコミュニケーション 学位プログラム</b> 所在地 〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1	
交通アクセス	JR 中央線／東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」下車 徒歩7分 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」下車 徒歩9分 TEL：03-3813-3111（代表）
ウェブサイト SNS など	プレスリリース <a href="https://www.juntendo.ac.jp/news/20201104-03.html">https://www.juntendo.ac.jp/news/20201104-03.html</a> コース案内 <a href="https://med.juntendo.ac.jp/education/master/course_info/pg_hlc.html">https://med.juntendo.ac.jp/education/master/course_info/pg_hlc.html</a> 第2回ヘルスコミュニケーション学記念セミナー（2021年5月15日） <a href="https://www.umin.ac.jp/hc/seminar2021/seminar2021.html">https://www.umin.ac.jp/hc/seminar2021/seminar2021.html</a>
設置課程と取得可能な学位・資格	修士（公衆衛生学） 資格（日本医療教育財団の医療通訳技能検定試験基礎・専門試験受験資格）
備考	出願前には必ず事前面談をお願いしております。 詳細やお申込みについては下記担当部署へお問い合わせください。
問い合わせ先	担当者 大野直子 准教授 （他の2022-23コース担当教員：ニヨンサバ・フランソワ教授、野田愛准教授） E-mail: <a href="mailto:hmedint@juntendo.ac.jp">hmedint@juntendo.ac.jp</a> TEL：03-3813-3111（代表）



病院実習での一コマ



実習中に見学した、順天堂東京江東高齢者医療センターにて

### 1. ヘルス コミュニケーション教育・研究活動とその特徴

順天堂大学大学院医学研究科医学研究科医科学専攻修士課程ヘルスコミュニケーション学位プログラムは、2021年4月に設立されました。本プログラムでは、ヘルスコミュニケーション関連の研究を行う上での基礎力を身につけることができます。本プログラムでの学びを通して、医療通訳（英語・中国語）に必要な専門的知識、技法を体得し、医療者と患者間のコミュニケーションを支援することができるようになります。

2023（令和5）年4月入学者から、当学位プログラム修了者に対して、国際通用性の高い修士（公衆衛生学）（Master of Public Health: MPH）を授与することといたしました。授与学位の変更に伴い、開講する授業科目も公衆衛生学関連の科目に変更されます。

### 2. 近年の実績（論文・実践活動等）、進行中のプロジェクト等

本プログラムでは、院生在学中から各種学会で発表します。2022年の教室関係者の発表実績は下記の通りです。

【本プログラムに関連した主な論文、報告】※下線が教員、二重下線が学生（発表時）

大野直子、野田愛、ニヨンサバ・フランソワ、順天堂大学院医学研究科ヘルスコミュニケーションコースにおける医療通訳概論の授業報告. *Journal of Medical English Education*. 2022; 21(1): 65-68.

2023年2月現在、第1期生の受理済出版待ち論文3件、投稿中論文1件、投稿準備中論文2件です。

【学生の課題研究・学位論文等に関連した主な学会発表】

2022年の、第1期生と教室関係者の発表実績は下記の通りです。

浅井ゆかり、大野直子、ニヨンサバ・フランソワ、野田愛. 医療通訳者の離職予防に関する研究. 第81回日本公衆衛生学会総会 2022年10月9日.

楊婧華、浅井ゆかり、鈴木佐和子、何婕、大野直子、野田愛、ニヨンサバ・フランソワ. 医療通訳者の雇用形態・収入への満足度と職業キャリア成熟度との関連性に関する研究. ヘルスコミュニケーションウィーク2022(日本医療通訳学会学術集会) 2022年10月1日.

田中奈美、井澤晴佳、安藤晴恵、藪下紘子、ニヨンサバ・フランソワ、野田愛、大野直子. 外国人診療における会話理解と医療通訳の必要性. ヘルスコミュニケーションウィーク2022(日本医療通訳学会学術集会) 2022年10月1日.

大野直子、野田愛、ニヨンサバ・フランソワ. 順天堂大学大学院ヘルスコミュニケーションコースの現状. ヘルスコミュニケーションウィーク2022(日本医療通訳学会学術集会) 2022年10月1日.

鈴木佐和子、浅井ゆかり、何婕、楊婧華、ニヨンサバ・フランソワ、野田愛、大野直子. 医療通訳者の訓練歴と報酬満足度および職業継続意識に関する研究. 日本通訳翻訳学会第23回年次大会 2022年9月4日.

### 3. 独自の取り組み

本コースは、専門教育機関として厚生労働省の「医療通訳育成カリキュラム基準」に準拠し、医療通訳技能認定試験の受験資格を得ることができるカリキュラムとして認定を受けた医療通訳者養成課程です。大学で医学関連科目を学んでいない方であっても、医学の基礎知識を一般教育科目として履修することで、認定医療通訳者として必要となる専門的な知識・技術を習得できるカリキュラム構成となっています。また、2年次に順天堂大学医学部附属順天堂病院にて病院実習を実施しています。

### 4. 入試概要

入学者の選抜は、事前面談合格者に対して、書類審査(志望理由書等)、口述試験、英語能力を総合して判定します。語学力に応じて語学試験の免除制度もあります。入試時期はA日程(9月入試)、B日程(1月入試)があります。留学生、社会人も受験可能です。出願期間など詳細は大学院ホームページの募集要項をご確認ください。

応募資格：厚生労働省医療通訳養成カリキュラムに従い、CEFR B2 (IELTS 5.5~6.5、TOEFL iBT 72~94、TOEIC L&R/S&W 1560~1840程度)、日本語非ネイティブは日本語能力検定1級の語学力を目安とします。

大学院ホームページ、募集要項 [https://med.juntendo.ac.jp/education/master/course\\_info/pg\\_hlc.html](https://med.juntendo.ac.jp/education/master/course_info/pg_hlc.html)

### 5. 在学生のバックグラウンドと卒後の進路

本コースの大学院生の多くは、社会人として働きながら学んでいます。医療者(医師、看護師、保健師)、医療関係者(製薬企業社員、医療機器メーカー社員)、非医療関係者(通訳者・翻訳者、インバウンド旅行会社勤務、通訳学校講師、会社員など)と、在学生のバックグラウンドは様々です。修了生の進路は、大学院博士後期課程進学のほか、医療通訳者、病院勤務、通訳学校講師、会社員など多様です。

### 6. 奨学金・助成制度

あり(詳細は大学院ホームページと募集要項をご確認ください)

### 7. ヘルスコミュニケーション関連の講義と担当教員の紹介

科目名	ヘルスコミュニケーション
授業の概要	本講義では、効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的なスキル、(3)コミュニケーションの研究手法などを取り扱います。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な知識を得ることが出来ます。
担当教員	科目責任者：大野直子　ゲスト講師：奥原剛(東京大学)、加藤美生(国立感染症研究所)、榊原圭子(東洋大学)、本間三恵子(埼玉県立大学)(2022年度)

\*責任著者 Corresponding author：大野直子 (e-mail: na-ono@juntendo.ac.jp)